

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会  
関係府省庁連絡会議（第13回）議事録

日 時：令和2年11月6日（金） 11：45－11：55

場 所：総理大臣官邸2階大ホール

出席者：

議長	内閣官房副長官（事務）	杉田 和博
議長代行	内閣官房東京オリンピック ・パラリンピック推進本部事務局長	平田 竹男
副議長	内閣危機管理監	沖田 芳樹
	内閣官房副長官補（内政担当）	藤井 健志
	内閣官房副長官補（外政担当）	林 肇
	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）	高橋 憲一
	文部科学事務次官	藤原 誠
構成員	内閣広報官	山田 真貴子
	内閣審議官【内閣情報官代理出席】	櫻澤 健一
	内閣法制次長	岩尾 信行
	内閣府事務次官	山崎 重孝
	警察庁長官	松本 光弘
	金融庁長官	氷見野 良三
	消費者庁長官	伊藤 明子
	復興庁事務次官	由木 文彦
	総務事務次官	黒田 武一郎
	法務事務次官	辻 裕教
	外務事務次官	秋葉 剛男
	財務事務次官	太田 充
	厚生労働事務次官	樽見 英樹
	農林水産事務次官	枝元 真徹
	経済産業事務次官	安藤 久佳
	国土交通事務次官	栗田 卓也
	環境省大臣官房長【環境事務次官代理出席】	正田 寛
	防衛事務次官	島田 和久

#### 【植松統括官】

ただ今より、第13回2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議を開催いたします。

会議の開催に当たり、杉田副長官から御挨拶いただきたいと思います。杉田副長官、よろしくお願いたします。

#### 【杉田副長官】

今日はお集まりいただきありがとうございます。先日開催されましたオリパラ推進本部においては、菅総理から、東京大会は人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証として開催し、東日本大震災の被災地が見事に復興を成し遂げた姿を世界に向けて発信する場にしたいという決意が改めて見受けられたところであります。

政府としては、東京都、組織委員会等と連携し、大会における新型コロナ対策の総合的な検討、調整のため、9月に推進本部の下で、「調整会議」を設置いたしました。本日は、その検討状況をお示しいたします。

具体的な対策を検討するにあたっては、各省庁にまたがる広範な課題を解決していくことが必要でございます。次官の皆さんにあっては、安心・安全な大会の実現に向けて、関係府省庁の間で緊密な連携を確保しつつ、先頭に立って取り組んでいただくようお願いいたします。いつも申し上げていることですが、次官の皆様がこれに強い関心を持つということを折に触れて示すということが大変大事だというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

#### 【植松統括官】

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。「東京大会における新型コロナウイルス感染症対策の検討状況」について、平田事務局長より御説明をお願いします。

#### 【平田事務局長】

東京大会については、今年3月30日のIOC理事会において、来年の開催日程が決定されました。その後、6月に策定されたロードマップに基づき、簡素化等の検討が進められ、新型コロナ対策については、9月から議論が本格化しているところです。

以下、資料1、「東京大会における新型コロナウイルス感染症対策の検討状況について」に沿って御説明します。

政府としては、東京都、組織委員会等と連携し、大会における新型コロナ対策の総合的な検討、調整のため、9月に、推進本部の下、「調整会議」を設置しました。

これまで、4回の会議を開催し、アスリート、大会関係者、観客の3つのカテゴリーについて、行程の場面ごとに、課題の検討を進め、次のような具体案を提示し、議論を

進めております。

まず、入国からホストタウン、大会等を経て出国までの、トータルでの環境整備・ルール作りを実施すること。

次に、国外のアスリート等について、必要な防疫上の措置を講じた上で、入国後 14 日間の待機期間中の練習等を可能とする仕組みを創設する方向で検討すること。

さらに、競技会場や選手村等におけるアスリートの感染症対策や、アスリートが行動できる範囲を限定する等のアスリートの行動ルールを策定すること。

そして、アスリートを受け入れるホストタウン等については、国が作成する感染防止策等に係る手引きを踏まえ、「受入れマニュアル」を作成すること、といった内容を第 3 回までの調整会議で提示いたしました。

加えて、先日開催された第 4 回の調整会議では、組織委員会の中に感染症対策センター（仮称）を設置し、アスリートの健康状況のモニタリングや陽性者発生時の接触状況等の確認・調整を実施する方向で検討すること。

メディアや大会スタッフ等のアスリート以外の関係者については、その特性に応じて、入国後の行動ルール等を検討し、アスリートとの接触がある関係者については、より厳格な行動管理等を行うことを検討すること、といった内容を提示しております。

なお、日本人選手やパラアスリート介助者等の関係者については、防疫措置を講じた上で、海外での国際大会等からの帰国後 14 日間待機期間中の練習を認める取扱いが開始されております。

今後、さらに検討を進め、年内を目途に中間整理を行う予定でございます。以上です。

#### 【植松統括官】

ありがとうございました。

それでは、御意見等がある方は御発言をお願いします。

文部科学省 藤原次官お願いいたします。

#### 【藤原次官】

先程、平田事務局長からお話ありましたとおり、国際大会等から帰国する日本人選手につきまして、一定の条件の下「帰国後 14 日間待機」の期間における練習を認めることとなりました。こうした取組を含めまして、選手が安心して強化活動に専念できるように、文部科学省としてもしっかりと支援してまいりたいと思います。

**【植松統括官】**

復興庁 由木次官 お願いいたします。

**【由木次官】**

競技が実施をされます被災地、具体的には宮城県でサッカー、福島県で野球・ソフトボールが実施されますが、こうした被災地におきましても、新型コロナウイルス感染症対策に取り組まれているところでもあります。

復興庁といたしましても、「復興五輪」が被災地の方々を勇気付け、復興を後押しするものとなるように全国的な取組みを進めてまいりたいと考えております。

**【植松統括官】**

法務省 辻次官 お願いいたします。

**【辻次官】**

法務省としましては、「調整会議」等における議論を踏まえながら、安全で安心な東京大会の実現に向けまして、同感染症に対する水際対策に万全を期してまいりたいと考えております。

**【植松統括官】**

外務省 秋葉次官 お願いいたします。

**【秋葉次官】**

外務省としても、新型コロナ感染再拡大の防止と両立する形で、円滑な国際的往来を実現するため、コロナ対策調整会議での検討も踏まえつつ、必要な防疫措置の周知や査証の円滑な発給など、政府全体の取組に貢献してまいります。

**【植松統括官】**

厚生労働省 樽見次官 お願いいたします。

**【樽見次官】**

厚生労働省といたしましては、安心・安全な東京大会開催の実現にむけまして、関係省庁等と連携をさせていただいて、観客への対応を含め、水際対策や、国内での検査・医療提供・相談体制の充実といった対策に全力を挙げてまいりたいと考えております。

**【植松統括官】**

農林水産省 枝元次官 お願いいたします。

**【枝元次官】**

農水省といたしましても、飲食ですとかビクトリーブーケに関連する事業者等における感染拡大防止対策の徹底を図りますとともに、日本食の魅力を発信する絶好の機会でございますので、選手村食堂における国産食材の使用を一層推進してまいりたいというふうに考えております。

**【植松統括官】**

経済産業省 安藤次官 お願いいたします。

**【安藤次官】**

経産省といたしましては、技術の活用という面で貢献させていただきたいと考えております。多くの観客の皆様を収容させていただいて、イベントの実施基準で認められておりますものと同じレベルの感染予防環境を実現することを目指しまして、スポーツ庁、総務省と連携しながら、まずはプロ野球公式戦、横浜スタジアム、そして明日、明後日東京ドームでございますけれども、新技術の実証を行っているところでございます。こうした取組を広げまして、東京大会の円滑な開催に貢献してまいります。

**【植松統括官】**

国土交通省 栗田次官 お願いいたします。

**【栗田次官】**

交通事業者等における「感染拡大予防ガイドライン」の徹底、あるいはパラリンピックも見据えた、新幹線における車いす用フリースペースの導入等、具体的な取り組みを進めます。また、特にバリアフリーを掲げている共生社会ホストタウンにおいては、感染症対策に加えてハード・ソフト両面のバリアフリー化を促進していただいております。オリパラのレガシーとすべく全国に拡大したいと思います。それから、コロナも踏まえた交通事業者の障害者への接遇向上等「心のバリアフリー」に関する取組も進めてまいりたいと思います。

**【植松統括官】**

続きまして、高橋内閣官房副長官補にもお願いいたします。

**【高橋内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）】**

サイバーセキュリティの観点から一言発言させていただきたいと思います。

サイバーセキュリティを取り巻く情勢は、昨今の報道にありますように、依然として厳しい状況にあります。大会関係組織と緊密に連携した上で、最新の脅威動向を踏まえた取組を推進してまいりたいと考えておりますので、各関係府省庁におきまして、引き続きの御協力をお願いしたいと思います。

**【植松統括官】**

ありがとうございました。

それでは最後に、杉田副長官より、御発言をいただきたいと思います。杉田副長官、よろしくお願いいたします。

**【杉田副長官】**

東京大会まで9カ月、長いようであまり時間はありません。今年開催するために、色々と対策を講じてきましたが、来年開催となると状況が大分違ってきます。これまで色々と講じてきた対策の他に、新たにコロナという状況を踏まえた諸施策を講じなければなりません。例えば、外国人観客の扱い等、検討しないといけないことがたくさんあります。より一層きめ細かい、コロナ下の東京大会に適した対策を引き続き御検討いただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

**【植松統括官】**

ありがとうございました。

今回の会合はここで閉会といたします。本日はありがとうございました。